

株主様ご優待制度

毎年3月31日現在当社株式を1,000株以上ご所有の株主様に対し、下記の基準により、静岡県袋井市において例年8月に開催される「ふくろい遠州の花火」指定席入場券または郷土の産品「クラウンマスクメロン」を贈呈いたしております。(花火大会があらかじめ中止となった場合は、自動的にクラウンマスクメロンのご贈呈となります。)

ご所有株式数	選択区分	ご優待品
1,000株 ～1,999株	-	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 2個
2,000株 ～4,999株	①	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券 2枚
	②	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 3個
5,000株以上	①	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券 4枚
	②	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 4個

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株
株主名簿管理人及び特別口座管理機関 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同連絡先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-176-417 (フリーダイヤル)

(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
公告方法 当社の下記ホームページに掲載します。
<http://www.enshu-truck.co.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 大阪証券取引所 (JASDAQ市場 証券コード 9057)

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の連絡先をお願いいたします。

第46期

業績の中間ご報告

(平成22年4月1日から
平成22年9月30日まで)



株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第46期第2四半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の業績につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、企業収益に改善が見られるなど、全体として景気回復基調にありましたが、政策効果の息切れや円高・株安の進行、世界経済の回復ペースの鈍化などにより、景気の先行きについては不透明感が増す状況になっています。

当物流業界においては、エコ家電やエコカー補助金の刺激効果もあって耐久消費財を中心に広範囲な分野において荷動きが回復しましたが、期の後半には、円高・株安によるデフレの進行など、事業環境面の懸念材料も再浮上いたしました。

このような中、当社グループにおいては、前期に開設した福島（福島県）、厚木（神奈川県）の2事業所の業績がフルに寄与しました。品目別では猛暑の影響から家電や飲料の取り扱いが増加し、食品、衛生用品等の生活関連貨物も好調裡に推移しました。

この結果、当第2四半期の連結営業収益（売上高）は109億40百万円（前年同期比24.2%増）と、第2四半期（中間期）

としては初めて100億円台を達成しました。利益面におきましては、増収効果もあり、連結営業利益は5億21百万円（前年同期比59.4%増）、連結経常利益は4億63百万円（前年同期比89.2%増）、連結四半期純利益は2億26百万円（前年同期比84.6%増）といずれも増益となりました。

部門別の営業収益の状況は次のとおりであります。

物流事業の営業収益は108億12百万円（前年同期比24.1%増）、その内訳は、輸送部門が68億23百万円（前年同期比17.5%増）、倉庫部門は39億89百万円（前年同期比37.4%増）となりました。不動産事業は、1億27百万円（前年同期比30.3%増）でありました。

設備投資につきましては、浜松営業所・湖東倉庫（静岡県浜松市）の建設など、総額2億6百万円を実施しました。

下半期の物流業界を展望しますと、エコカー補助金の終了により自動車産業において減産の影響が出始めるものと予想され、持ち直しの兆しを見せ始めていた荷動きにもブレーキがかかることが懸念されています。

このような環境下、当社グループは、経営資源が集積する本社、浜松地区における貨物の掘り起こしに注力するほか、品質面を中心とした物流サービスの向上による貨物の獲得に努め、通期の連結営業収益として初の200億円台の達成を目指してまいります。

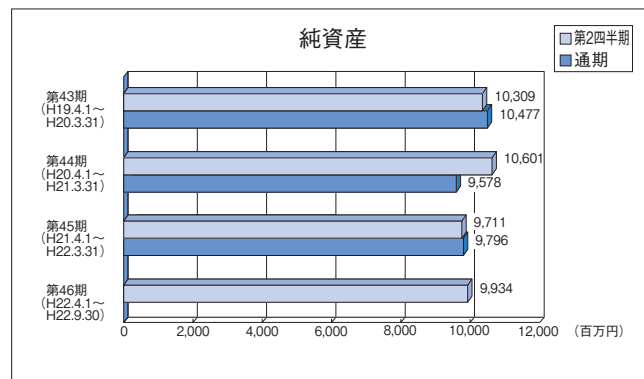
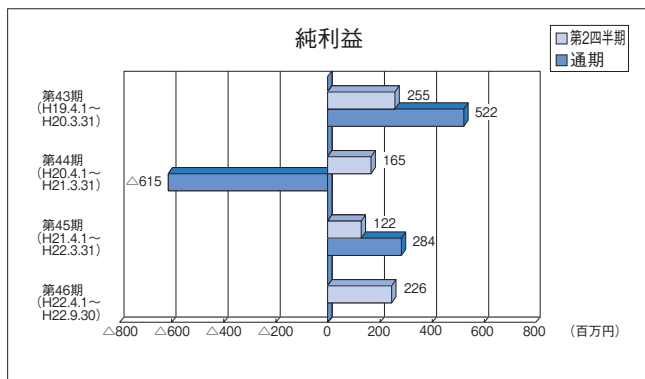
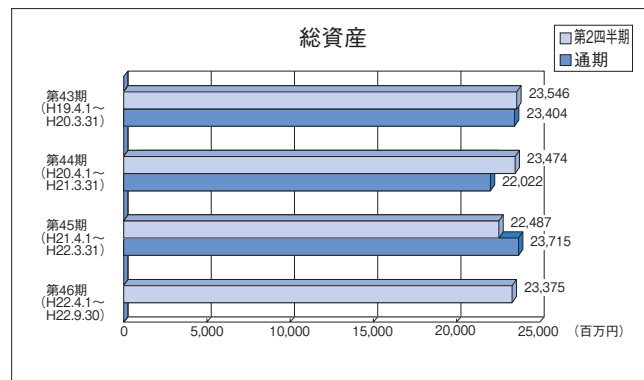
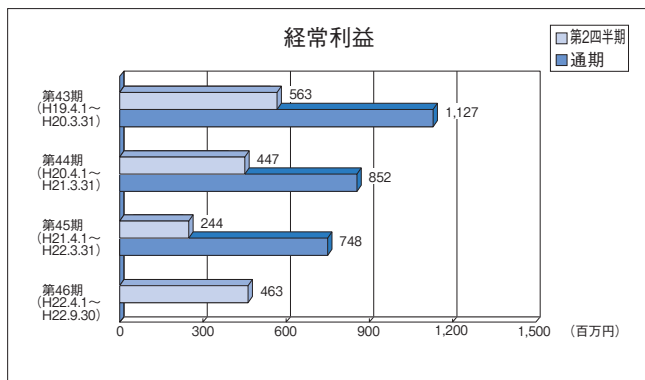
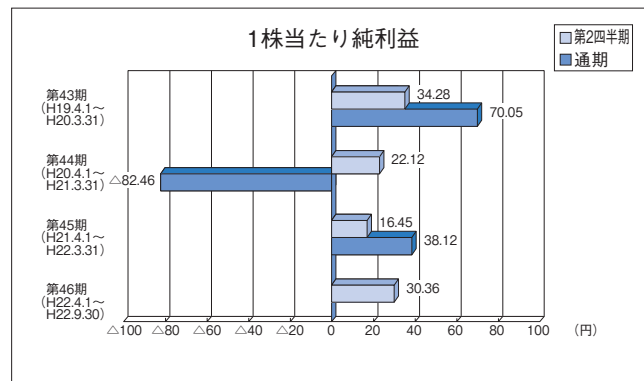
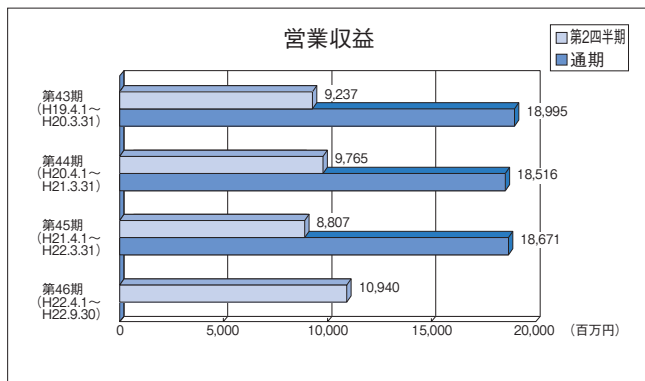
管理面におきましては、引き続き、内部統制システムの整備、財務体質の強化、人材の育成等に努めてまいり所存です。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長 澤田 邦彦

連結業績ハイライト



連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 (平成22年9月30日現在)	前 期 末 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	4,778	4,848
固定資産	18,597	18,866
① 有形固定資産	16,070	16,180
無形固定資産	311	308
② 投資その他の資産	2,215	2,378
資産合計	23,375	23,715
(負債の部)		
③ 流動負債	7,300	7,422
③ 固定負債	6,140	6,495
負債合計	13,441	13,918
(純資産の部)		
株主資本	9,835	9,668
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	7,524	7,357
自己株式	△ 59	△ 59
評価・換算差額等	14	29
少数株主持分	84	98
純資産合計	9,934	9,796
負債及び純資産合計	23,375	23,715

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

- ① 浜松営業所・湖東倉庫の完成に伴い、主に建物及び構築物が増加しましたが、減価償却の実施等により、「有形固定資産」は前期末に比べ1億9百万円減少しました。
- ② 長期貸付金の回収等により、「投資その他の資産」は前期末に比べ1億62百万円減少しました。
- ③ 借入金の返済等により、前期末に比べ、「流動負債」は1億22百万円、「固定負債」は3億55百万円減少しました。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期(累計) (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前第2四半期(累計) (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
① 営業収益	10,940	8,807
② 営業原価	10,106	8,171
営業総利益	833	635
販売費及び一般管理費	312	308
③ 営業利益	521	326
営業外収益	35	23
営業外費用	93	105
③ 経常利益	463	244
特別利益	5	0
特別損失	52	5
税金等調整前四半期純利益	416	239
法人税等	200	△ 7
過年度法人税等	—	125
少数株主損益調整前四半期純利益	215	—
少数株主損失	△ 10	△ 1
四半期純利益	226	122

(注) 1. 前第2四半期(累計)の法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

- ① 景気回復に伴う荷役の改善や福島、厚木の新規2事業所の寄与等により、前年同期に比べ、運送収入が10億17百万円、倉庫収入が10億85百万円増加し、「営業収益」は21億32百万円の増加となりました。
- ② 増収に伴い、備車料、外注費等が増加し、「営業原価」は前年同期に比べ19億35百万円増加しました。
- ③ 増収効果等により、前年同期に比べ、「営業利益」は1億94百万円、「経常利益」は2億18百万円の増益となりました。

会社の概要 (平成22年9月30日現在)

設立 昭和40年8月
 資本金 1,284,300,000円
 本社 静岡県袋井市木原627番地の3
 従業員の状況 623名 (連結971名)
 主要な事業所

本社事業部 静岡県袋井市木原22番地1
 西日本事業部 浜松市西区湖東町5720番地
 関東事業部 横浜市鶴見区大黒町一丁目11番地
 東京営業所 東京都港区浜松町二丁目12番11号

役員 (平成22年12月1日現在)

代表取締役会長	神谷修義
代表取締役社長	澤田邦彦
取締役	井上正明
取締役	豊田慶造
取締役	山本雅俊
常勤監査役	木下昭二
監査役	馬杉秀
監査役	秋山和幸
監査役	八木宗治

(注) 1. 取締役 山本雅俊氏は社外取締役です。
 2. 監査役 馬杉 秀、秋山和幸、八木宗治の3氏は社外監査役です。

連結子会社

株式会社藤友物流サービス	(本社 浜松市東区)
遠州トラック関西株式会社	(本社 大阪市鶴見区)
株式会社中国遠州コーポレーション	(本社 静岡県袋井市)
上海遠州物流有限公司	(本社 中国・上海市)

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前第2四半期(累計) (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	654	83
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 149	△ 161
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 499	△ 50
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 17	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 11	△ 128
現金及び現金同等物の期首残高	931	941
現金及び現金同等物の四半期末残高	920	813

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

- 税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等により6億54百万円の収入となり、「営業活動によるキャッシュ・フロー」は前年同期に比べ5億71百万円の増加となりました。
- 有形固定資産の取得等があり、「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1億49百万円の支出となりましたが、貸付金の回収等による収入があったため、前年同期に比べ12百万円の支出の減少となりました。
- 設備投資等に伴う新規の借入がありました。借入金の返済や期末配当金の支払等により、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は4億99百万円の支出となり、前年同期に比べ4億49百万円の支出の増加となりました。

■株式の状況

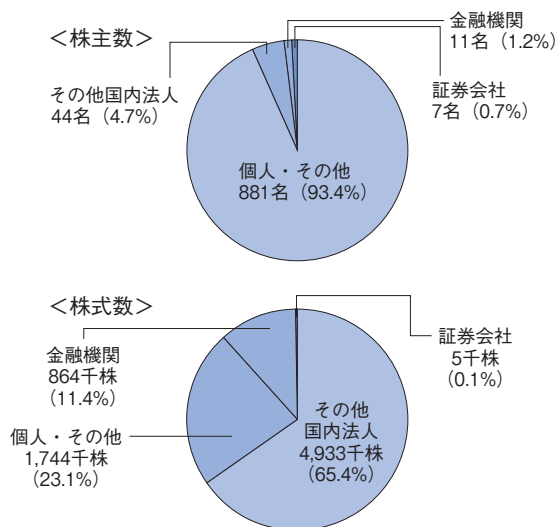
発行可能株式総数	17,600,000株
発行済株式の総数	7,546,000株
株主数	943名

■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社住友倉庫	4,527	60.7
澤田邦彦	202	2.7
遠州トラック従業員持株会	197	2.6
株式会社商工組合中央金庫	169	2.3
有限会社スリーナイン	131	1.8
株式会社静岡銀行	124	1.7
株式会社三井住友銀行	121	1.6
三井住友海上火災保険株式会社	103	1.4
日本生命保険相互会社	100	1.3
東京海上日動火災保険株式会社	100	1.3

(注) 持株比率は自己株式 (84,873株) を控除して計算しております。

■所有者別の分布状況



■新浜松営業所、湖東倉庫が完成

平成22年6月、東名高速道路浜松西インターチェンジに近接する静岡県浜松市湖東地区に、新浜松営業所及び湖東倉庫が完成しました。

今回完成した施設は、新たに浜松営業所(西日本事業部本部)として機能することとなった2階建て事務所(延床面積 315㎡)と鉄骨造2階建て倉庫(延床面積 2,400㎡)で、いずれも同じ敷地内に立地することから、これまで以上に迅速、確実な事務所・倉庫間の情報伝達や、きめの細かいサービスの提供が可能となりました。

当社は、経営資源が集積する静岡県西部地区を中心に、地域に密着した物流事業を展開していますが、今回、国道1号線や東名高速道路などの主要幹線道路に近い同地区に、本社に次ぐ西日本事業部の中心的存在となる物流拠点を開設したことで、交通アクセスの利便性や高品質な物流サービスの提供など、既存荷主様からのさらなる貨物の獲得はもとより、新規荷主様へのアピールを高めていく所存です。



■車両へのドライブレコーダーの装着を推進

当社では、安全運転、事故防止対策の一環として、車両に対するドライブレコーダーの装着を順次進めています。

ドライブレコーダーは走行中の車両の衝撃を感知し、その前後の映像を自動的に記録することから、実際に事故に遭遇した場合はもちろん、一般走行時の万一の急ブレーキや急ハンドル、急加速にも反応して、同様に画像を記録します。

そこで当社では、車両にドライブレコーダーを装着することで、乗務員に対して常に自己の運転が見られているという意識を持たせ、安全でゆとりのある運転の励行と急操作の抑制を図る一方、危険予知や運転指導といった安全教育の教材として、実際にドライブレコーダーによって記録された画像を活用するなど、乗務員の安全意識の向上に努め、全社を挙げて安全運転、事故防止に取り組んでいます。

